った国内木質バイオマ ス発電事業だが、より

高まった。

ンテナンス、高品質な

新会社で仕切り直しに

社長

休止した3

発電所が

カ月後の昨

バイオマス 日、北海道 年6月28

エネルギー

ト川発電所横の土場

方
が
ま
で
積
み
上
げ
て

時も直接燃焼が主流だ 発電所を建設した。当 質バイオマス・ガス化 めた2カ所で小規模木 に、石狩郡当別町を含

施設を駆使し、将来ど

に置いた熱電関連の各 せずに地元資源を主軸

ろいった街づくりにつ

今年前半までは設備機

なげていくかに期待も

道バイオマスエネルギ

17年に設立した北海

燃料が求められる小規

ーンエナジーと事業

模ガス化熱電併給施設

で活路を見いだす事業

は三井物産が設立し

でもあった。

%となった。

同社は下川町ととも

体で、化石燃料に依存

的に導入してきた自治

産80%、北海道電力20

木質バイオマス燃料を

暖房用やキノコ栽培で

下川町は公共施設の

易と下川運輸が各33・ 決権ベース)は三洋貿 新会社の出資比率(議 譲渡契約を締結した。

4%、残り33・2%が

への移行は、

活用した熱利用を積極

出資比率は三井物

に北海道電力が出資

## ザプライチェーンの原理

の場所に新たなバイオマス発電所が完成したのが20 出削減に結び付けているが、町の中心部から車で数分 住宅などの公共施設向けで熱ボイラーを積極的に導入 る。発電所がある上川郡下川町は、木質バイオマス利用 を早くから取り入れ、学校や病院、温浴施設、定住促進 して注目を集めたが、後発だった発電事業の方はウッ した地。町を挙げて化石燃料の消費抑制とCO。の排 社長)は、小規模木質バイオマス発電事業を展開してい 18年だった。同町は、熱利用と発電の両面で先進地と 北の森グリーンエナジー(北海道上川郡、大藪吉郁

## ドショックの影響で燃料コストが上昇するなどして旧

易は下川町と当別町の ンサルタント。三洋貿 などの大日本ダイヤコ 土木コンサルタント業

運営会社が24年3月に事業を停止する事態となった。

りがある。 発電所へガス化装置や を納品していたかかわ ペレット製造設備など FIT認定の新会社 町が17年ほどとなる。 モデルを継続する方針 益を計上していく事業 当面はFIT売電で収 買取価格の残存期間が 出力1815W· 熱出 このため両発電所では 下川町の施設は発電 川町で約4年、当別

当別町が同997kw・ 造で全量活用する。 連結)で、下川町の熱 同1560以(同6台 となる木質ペレット製 は両発電所向けの燃料 三洋貿易によると、

に乗っていることもあ 長線上にある」(大藪 どに追われた。木質ペ 器のメンテナンスやオ **模までは戻っておら** レット生産量も従来規 レーターの再育成な 「まだ試運転の延 とまっている。 想定以上に入荷量はま の尽力もあって当初の を買って在庫を増やし たい」(大藪社長)と ット原料となる)木材 ャンスがあれば(ペレ 材在庫を約8000立 述べるが、下川運輸ら 同社は現在、未利用

无主体で<br />
集荷に力を入 てこれら未利用材を地 用していない

力2860㎞(小型ガ 下旬に完了した。固定 生産業者も加わってい おり、下川運輸や出資 した5社(議決権な 先のほか、地元素材生 〇立方
が(ペレット生 着型で年間1万300 る。これら地元の木質 し)のなかで地元素材 産業者から手当てして 利用材を集荷する。 特徴でもあり、地場密 産量は同1万~)の未 れている。以前の取引 携することが新会社の る。 ントロールが難しい」 めながら、「仕入れる ペレット生産量を見極 電所の安定稼働と木質 価格で、さらに運転資 木材の価格と数量のコ 青天井というわけには 宿命だが、生み出した いかない。同社でも発 (同)とも指摘してい

ら100 計圏内と以前 らくなっている。「チ 用材の供給量も伸びづ 住宅向けの失速で燃料 が、足元の木材需給は より範囲を広げている 集荷範囲は発電所か うだけでなく、しっか りと再造林まで実施し る。さらに、伐って使 できる機能を考えてい て持続的な木質資源を 方で燃料入荷量を調整 って自社材と買材の双 は、いずれ社有林を持 この対応策として いる。

社会を構築する一環と いう考えもあり、循環 確保することが重要と して事業を成り立たせ 固定買取期間の終了後 地元の下川町と当別 ITの売電期間が終わ が、現在は選択肢を可 が、現在は選択肢を可 が、現在は選択肢を可 が、いずれにし することも検討する るような事業で て地域電力とし 地元自治体と協力し 継続す てもF て供給

き上げた。 将来的には社有林も

C、D材などになる。 材や、製材に適さない ダム支障木や枝葉など 伐採されて出てくる木 伐材や森林整備計画で となる未利用材は、 木質ペレットの原料

が重要視されるため利 の低質材は、ガス化発 電ではペレットの品質 また、新会社になっ あり、今夏から材がす ているが、旧運営会社 から引き継いだ在庫も

木材価格もどうしても 金の絡みで調達できる 電力の売電価格は固定 べて入れ替わるとみて FIT認定発電所の った、当別町の施設をどった、当別町の施設をどった、当別町の施設をど い。近場で木質ペレッすることは考えていなレットを生産して輸送 索している。 トを調達できるかを模

りすることも想定して に販売したり、FIT は、PPA(電力購入 材端材などで運営した 取り組むが、約15年後 利用材という原 で売電しなくなれば未 しづらい。現時点で の電力需給状況 域の意向を大事にして1T終了後について1T終了後について 域の意向を大事 IT終了後に 契約)でグリー 料の縛 ン電力 は見通



ドイツ・ブルクハルトのガス化施設

## 日刊木材新聞 2025年7月10日付6面